

四月四日の「東北復興日記」で、「小冊子を複製します」と寄付の呼びかけをしてから半年がたちます。寄付を申し出てくださいました方々に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

おかげさまで私たちの思いが込められた「福島県南相馬発 坪倉正治先生のよくわかる放射線教室」写真は八月十一日に完成。段ボール五十箱二万冊の小冊子が届きました。夏の最中の暑い朝、私は感無量の思いで段ボールの封を開けました。

文部科学省や復興庁などでも教本は作製されましたが、どなたが手にし

ベテランママの会代表  
番場さち子さん



## 東北復興日記

III

# 放射線学ぶ冊子に反響

てもわかりやすい冊子を作ろうとひらめいたのが今年の初め。寄付を呼びかけている間、批判を受けることが度々ありました。「被災者なんだから被災者らしいことをしろ」という罵声も浴びま

した。そうした苦難を乗り越えた末の冊子の完成は、多くの方々の支えがあつてのことです。完成前の予約に加え、その日から本部では、電話やメール対応が多忙を極め、「本当のことが知



りたい」という地元の方、NHKや新聞などで冊子を知った全国各地の方から問い合わせいただき、三週間で一万九千冊が飛び立つ勢いに、作製した私たち自身が驚きを隠せませんでした。

冊子が欲しいと電話を下さる方は、大概ご自身の身の上話から始まりま

者さんに渡したいという病院関係者などなど。さまざまな人間模様、震災後の日本中の混乱ぶりが垣間見えました。復興庁や各県庁などからもお問い合わせいただき、わかりやすいという評価もいただきました。

本当に作って良かったと思います。現在は日本語版の再版と英語版作製のために奔走している毎日です。

この連載は、東京のNPO法人JKSKと、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結核プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。